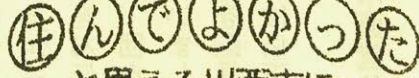


暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



と思える川西市に...

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



10月12日から、関東甲信越、東北に甚大な被害をもたらした台風19号。総務省消防庁によると、宮城県、長野県などで約4万5100人に避難指示が出たまま(18日午後2時現在)です。被災された方々に心からお見舞い申し上げますと共に、まだ行方のわからない方が一刻も早く見つかりますことを願っています。

私(黒田)の複数の友人宅も浸水被害にあい、片付けの真っ只中。東日本大震災の津波被害にあった方もおられて、本当に心が痛みます。1日も早い復旧を願いながら、避難生活を余儀なくされている方の健康などへの配慮が十分なされることを求めています。

## 台風被害への 救援募金活動中



千葉県を襲った台風15号への救援募金活動をしている最中に、19号の被害が発生。まだまだ被害の全容がつかめていない状況ですが、日本共産党は各地で「救援募金」のお願いをしています。東谷後援会(東谷中学校区)として行っている募金は、私(黒田)が責任をもって、中央委員会へ送金します。中央委員会でとりまとめ、それぞれの自治体へ送られます。10月20日現在23746円預かっています。

引き続きのご協力よろしく願いいたします。また、ブログなどでも報告します。

☆11月17日(日)~19日(火)福島県へ行く予定にしています。また、ご報告します☆

川西病院は災害時のいのちの砦です。ペリタス病院がある地域も洪水浸水想定区域(2m以上3未満)ですが、その点

### 川西病院は地盤強固

病院は災害時のいのちの砦です。ペリタス病院がある地域も洪水浸水想定区域(2m以上3未満)ですが、その点

### 洪水浸水想定区域

各河川において想定される条件で、大雨が降った場合の河川氾濫により想定される浸水の幅と深さを国または兵庫県が指定した区域。(見直される場合あり)  
滝山町267番地より下流(洪水予報区間)  
想定最大規模降雨(9時間380mm)  
滝山町267番地より上流  
(1日総雨量243mm)

# 台風19号でハザードマップの有効性実証! 新病院建設は真剣に見直しを

## キセラ 洪水浸水 区域

台風19号が関東甲信越、東すが、避けられる被害は避けましたが、豪雨被害を受け、地域と自治体がつけたハザードマップの浸水予測地域がほぼ一致していたことが注目されています。今回の台風19号の検証が

一致していたことが注目されています。今回の台風19号の検証が

マップの「洪水浸水想定区域」けた複数の地域において、自キセラ地区に、新病院を建設 治体がつけたハザードマップが正しいのかどうか、真剣な見直しが必要です。

昨年、川西で地震、豪雨

千曲川の氾濫で新幹線車両基地が4m以上浸水し車

昨年、私たちは6月の大阪両が水没した映像を目の当北部地震(震度5弱)と7月たりにしましたが、基地周辺の集中豪雨、台風被害を経験は最大10m以上の想定浸水しました。大きな自然災害に、域でした。

いつ、どこで、誰が巻き込まれるかもおかしくないような状況が繰り返されています。私たちの準備と心構えも大切で51人の犠牲者が出た岡山

県・真備町も実際の浸水地域とマップの想定浸水域がほぼ一致していることが明らかになっています。

洪水浸水想定区域に新病院!!

川西市の場合、洪水浸水想定

区域と通行止め場所はハザードマップで示されています。(たんぽぽだより204号既報)、まさにその浸水想定区域(1m以上3m未満)に、今回のキセラ新病院が計画されているのです。

ふさわしくない地域

私たちは新病院建設地としてキセラ地域はふさわしくないことを主張し続けています。阪神・淡路大震災で全壊・半壊など住宅被害がでた地域であり、皮革工場跡地のため土壌は六価クロムに汚染され、洪水浸水想定区域でもあるためです。

「想定外」とはいえない

しかし市は、「免震構造だから大丈夫」「汚染土壌は調査して対策する」「電源を地下に置かないようにする」「水が入ると建物への配慮だけを繰り返しますが、周辺道路の状況などがどうなるかはわかりません。



市立川西病院の現在地は大丈夫ですから、この地域から病院をなくすべきではありません。今回の台風19号被害を経験し、市のハザードマップを見れば、市の病院構想は抜本的に見直しをするべきだと考えます。

現病院の有効活用を

現川西病院は1983年10月に開業し丸36年、まだまだ使えます。改めて、北部での安全・安心な場所での建替えを考える時間は十分あります。

新病院が「工事中に浸水したら」「稼働後に浸水したら」「北部の病院をなくしてしまつたら」...としっかり想像、想定し、安心のまちづくりを考えましょう。

猪名川町との医療面・財政面での連携を含め、川西の将来を考えて、しっかりと声をあげ、行動しましょう。